

# Fusyo Collaboration letter

5月 17日 No.6 文責 廣田 秀俊



## グローバルな時間を楽しもう

“How are you?” 2年生の教室で言葉を交わす子どもたちの声が聞こえてきました。「気分を聞いたり答えたりして、新しいクラスの友だちと仲よくなろう」というゴールを目指して友だち同士で会話していきます。I’ m fine. I’ m happy. etc.たくさんの声が笑顔とともに発信されていました。



1年生の教室から Seven Steps の歌声が響いてきました。リズムにのって調子よく唱っています。数字の英語はもうマスターしています。先生が手にするノートを数えながら、“How many notebooks ?” の質問にも次々に答えていくことができました。1～10数字は OK です。



“What sport do you like?” 3年生の教室では「学年の友達と仲良くなるために自己紹介をして、好きなものを伝え合おう」のめあてのもと、好きなスポーツを聞いたり答えたりしていました。友達の自己紹介の様子を iPad で撮影していきました。ペアトークではペアを次々に変えながらたくさんの友達と好きなスポーツを紹介しあうことができました。



5年生からはこんな会話が聞こえてきます。“How do you spell your name?” ここでも自己紹介し合う子どもたちの姿がありました。どんな反応が良かったか中間での振り返りをしました。“Smile がよかった” “Eye contact をとってる” “紹介するものを見せながら話していた” “など友達の反応に Good!を送り続けていました。先生からその瞬間のスナップを見せてもらい、納得顔の子どもたちでした。



6年生が埴輪づくりを行いました。出前授業で講師の先生をお招きしてオリジナルミニ埴輪の制作スタートです。粘土を紐状に輪積みしていきます。形を整えながら下から上へと形作っていきました。友達の制作途中を見ながら、「上手！」「きれい！」の声。負けじと自作中の埴輪へと神経を集中させていきました。世界で一つだけのオリジナル埴輪の完成です。



自分なりの埴輪をしみじみ眺めながら、古墳時代の埴輪と見比べていました。担任の先生に「先生の古墳の周りにこの埴輪置いていいよ」の声も。それは実現するのでしょうか・・・？

